



校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥
平成31年3月28日
☎55-2260 第12号

教育目標

ふるさとに誇りをもち
夢と希望に満ちた
心豊かでたくましい児童の育成



新学期にそなえて

3月15日（金）に卒業式が行われました。今年度の卒業生は1名でしたが、別れの言葉の中で、6年間の頑張ってきた姿や在校生、家族、先生、地域の人達に支えられてきた感謝の気持ちがしっかりと述べられ、とても感動の卒業式でした。22日（金）は、1年生から5年生までの子どもたちが、一年間の締めくくりの式・修了式を行いました。どの子どもたちからも、来年度に向けての意気込みを感じました。特に5年生は、3学期に入り、6年生との引継ぎをしっかりと行い、最高学年になる役割を少しずつ果たしてきました。最高学年としての自覚とやる気が感じられました。平成31年度は、5年生がこの月立小学校をがっちり支えていってくれることを楽しみにしています。さて、以前『新学期にそなえて』という新聞記事を見ました。その中で、作家の重松清さんが「ころんだっていいんだよ。」と題するエッセイを書いていました。（以前校長室だよりにも掲載しましたが）そのエッセイの冒頭に「新学期を緊張や心配なしに迎えた経験は一度もない。」とっており、「何かを始めるときは、不安なことが多く、大人になっても不安がないということはない。」と記しています。まさに、子どもの心を的確に言い切り、そして子どもを勇気づける言葉だと思います。その他にもエッセイで印象に残った3つをあげたいと思います。

- ①人生は勝ったり負けたり、いろいろある。負けないやつはいないから、そんなに落ち込まないでほしい。「負けに負けるな。」（以前校長室だよりで掲載）
- ②大きくなるにつれて、できないこと、不得意なことが増えていく。でも、それで自分の向き、不向きが分かれば、目標も決めやすい。（以前校長室だよりで掲載）
- ③よく「道をふみ外したらいけない。」というけれど、道幅はあなたが思うよりけっこう広い。転んじゃいけない、と思わなくていい。



このように、子どもも大人も、とても新鮮な気持ちで、平成31年度を迎えたいと思います。今年度、最後の校長だよりとなりますが、保護者・地域の皆様にはこの一年間、本校における様々な教育活動に対して、深いご理解と多大なるご協力をいただき、心より感謝申し上げます。あわせて、子ども一人一人の確かな成長を喜び合いたいと思います。

【卒業式を終えて】